

■広報特集に関するアンケート

令和7年7月号特集「令和6年7月大雨災害から1年 大切な命を守るため」

年代	特集を読んでのご感想、ご意見をお寄せください。
40代	支え合いセンターの活動をクローズアップしてほしい
50代	市の広報誌という紙媒体で読むことで、ネットに繋がっていない人でも老若男女「自分ができることは何だろう？」と考える良いきっかけになると思いました。スピード感、お金、資材と人材の確保…災害対策にはありとあらゆる面で「今！すぐ！」が求められると思いますが、どうかどうか、市役所の皆様（業務御多忙は理解しています）が「今困っている市民のため」めんどくせがらねで心を寄せたお仕事ができますよう願います。両親が公務員という家庭で育った私です。愛するわたしたちの街・酒田の行政に携わる皆様を、心から応援しています。もしえのん・あののん、めんこの。
50代	洪水ハザードマップについて。 ①警戒レベルが、古いバージョンで記載されています。「避難勧告」は、令和3年に廃止されているはずですが。 ②最上川ハザードマップの避難経路について。最上川が溢れたら新井田川も溢れると思います。ハザードマップを見ても新井田川が氾濫することを想定して色分けされているのに、川を跨ぐように避難するのは危険ではないでしょうか。川の東側にも避難所があるのに、どうしてそこに逃げないのか疑問です。多くの市民が避難するのは警戒レベル4であり、その時には既には溢れそうになっているはずですが。川から離れることが避難の基本なのに、なぜ、このような経路になったのでしょうか。
60代	防災無線が、なかなか、聞こえない！ もっと聞こえるように、ラジオの方に、してもらいたい
50代	「危ないと思ったらすぐ避難」について 避難場所はコミセンや小学校になると思われませんが、 昨年の豪雨の際、私の地域のコミセン（富士見）は、浸水被害を受けたため、建物を閉鎖し、避難場所として機能しませんでした。 そうすると、実際どこに逃げればいいのかわかりません。 二階建て以上の住宅に住んでいれば、垂直避難で落ち着くのを待つしかないと思いますが、そうでない居住形態の場合どうしたら良いのでしょうか。 一人一人が自分の意思と足でしっかり行動することが大切なので、その気概を醸成する必要もあるでしょう。 そのためには、日頃の備えに加えて、避難訓練が不可欠です。 市全体で本気の避難訓練が必要と思いますが、参加者が少ないことも予想されるので、ちょっと面白い感じの訓練はいかがでしょうか。
40代	災害が発生時、避難所の鍵を持っている人が被災して来れない時は、避難所に入れられないのでは？

■広報特集に関するアンケート

令和7年7月号特集「令和6年7月大雨災害から1年 大切な命を守るため」

年代	特集を読んでのご感想、ご意見をお寄せください。
60代	災害時の写真を多く載せるなどして注意喚起を強めてはどうでしょうか？ プライバシー等の問題は有るかもしれませんが、目で見える情報が1番説得力が有ると思います。その後の復旧の状態も知りたいと思います。
60代	非常持ち出し?備蓄品リストがとても参考になった。 大雨災害でのボランティア活動状況も載せて欲しかった。
60代	防災では事前の準備が大切だと感じた。 もっと地区の防災組織について知りたいと思った。
40代	今年は災害がないことを願っています。